

請求の範囲

- [請求項1] 把持するための長尺の柄部と、
前記柄部に連結されるとともに所定方向に向けて凹状に形成されたボウル部を有するスプーン本体と、を備え、
前記柄部は、
前記スプーン本体に連結されるとともに手指の先端を収容する凹部が形成された先端部と、
前記先端部に連結されるとともに前記所定方向の反対方向に向けて突出する曲面形状を有する基端部と、を有することを特徴とする調理用スプーン。
- [請求項2] 前記柄部は、使用者の手掌の所定位置を前記曲面形状の頂部に配置した状態で、該使用者の手指の先端が前記凹部に収容可能となるように形成されていることを特徴とする請求項1に記載の調理用スプーン。
- [請求項3] 前記所定位置は、人差し指のMP関節の手掌側近傍であることを特徴とする請求項2に記載の調理用スプーン。
- [請求項4] 前記頂部における前記曲面形状の第1曲率半径は、前記凹部が最大深さとなる底部における第2曲率半径よりも大きいことを特徴とする請求項2または請求項3に記載の調理用スプーン。
- [請求項5] 食材を収容するとともに前記所定方向に向けて凹んだ曲面形状を有するすり潰し容器と、
請求項1から請求項4のいずれか一項に記載の調理用スプーンと、
を備える調理セット。
- [請求項6] 前記すり潰し容器の前記曲面形状の第3曲率半径は、前記スプーン本体の底面の第4曲率半径よりも大きいことを特徴とする請求項5に記載の調理セット。